

令和6年11月食品ロス実態調査報告書
秋田市食品ロス実態調査報告書

令和7年1月10日発行

1 実施概要

■実施日時	令和6年11月21日（木）、22日（金）
■作業場所	秋田市総合環境センター
■作業時間	8：30～17：00（昼食休憩1時間、準備片付け含む）
■作業体制	秋田市職員のべ13名（地域別家庭ごみ組成調査） 受託業者職員のべ6名（食品ロス調査）
■調査資料	<ul style="list-style-type: none">・ 標記調査と同日に行う「地域別家庭ごみ組成調査」の調査資料である家庭ごみ100袋のうち、生ごみに分別された試料を「食品ロス実態調査」の調査試料とした。・ 調査資料である100袋の地区別の収集数は、中央、東部、西部、南部、北部、河辺・雄和の6地区の人口構成比により以下のとおりとした。 【11月21日】 中央（檜山11袋）、東部（東通10袋）、西部（新屋元町又は日吉町5袋）、南部（御所野8袋）、北部（下新城中野6袋、金足6袋）、河辺・雄和（河辺4袋） 【11月22日】 中央（川尻6袋、大町6袋）、東部（添川4袋、旭川4袋）、西部（新屋勝平町6袋）、南部（上北手8袋）、北部（飯島12袋）、河辺・雄和（雄和4袋）・ 調査資料の重量は、国の「家庭系食品ロスの発生状況の把握のためのごみ袋開封手順書」で示している「100世帯分程度のごみ袋又は生ごみで100kg～150kg程度」としていることを踏まえ、上記100袋に含まれていた生ごみ約130kgとした。

2 調査方法

調査方法は、国の「家庭系食品ロスの発生状況の把握のためのごみ袋開封手順書」に従って以下のとおり実施した。

(1) 試料採取

各地区の収集を担当する委託業者の運転員が、それぞれ当該地区のごみ集積所から、予備の袋も含め無作為に採取し、破袋しないよう作業所まで運搬、到着後、必要袋数を市職員が無作為に抽出した。

(2) 作業内容

- ・ 調査対象となる100袋に含まれる各地区ごとの食品廃棄物（生ごみ）の重量を計量した。
- ・ 食品廃棄物のうち、手付かず食品（100%残存・50%以上残存・50%未満）と食べ残し、調理くず、その他に分類し、重さを計量した。
- ・ 手付かず食品の賞味期限および消費期限を確認した。

3 調査結果

(1) 試料中の食品廃棄物の割合

調査対象とした試料について（図表1）、6地区の100袋の合計重量は、377.1kg、1袋あたりの平均重量は約3.8kgであった。

図表1 調査対象とした試料概要（秋田市）

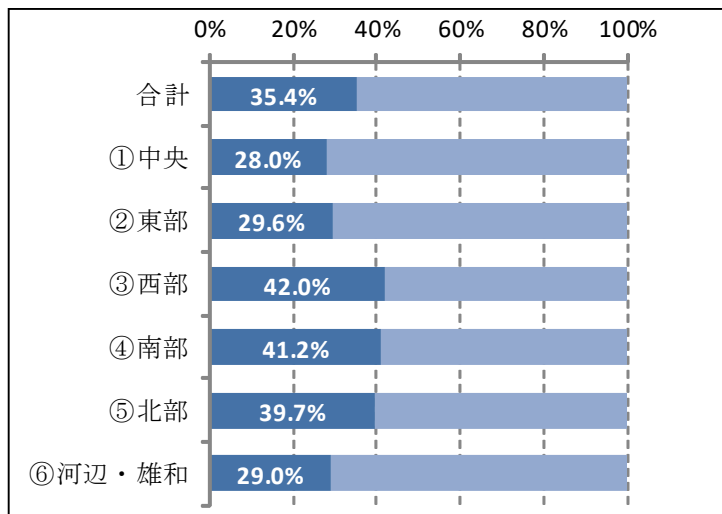
	袋数（個）	重量（kg）	容量（L）	袋あたり	
				重量（kg）	容量（L）
合計	100	377.1	3510	3.8	35.1
①中央	23	64.3	760	2.8	33.0
②東部	18	71.8	710	4.0	39.4
③西部	11	36.2	305	3.3	27.7
④南部	16	60.9	490	3.8	30.6
⑤北部	24	113.8	925	4.7	38.5
⑥河辺・雄和	8	30.2	320	3.8	40.0

※合計は、6地区の調査結果を足して算出したもの

試料中の食品廃棄物の割合について（図表2）、6地区の合計割合では、35.4%となっている。

地域別に見ると、③西部が最も高く42.0%、次いで④南部の41.2%、⑤北部の39.7%、②東部の29.6%、⑥河辺・雄和の29.0%、①中央の28.0%、となっている。

図表2 試料中の食品廃棄物の割合（秋田市）



	サンプリング試料 A	うち、食品廃棄物 B	食品廃棄物割合 C (=B/A)	食品廃棄物以外 D (=1-C)
合計	377.14	133.35	35.4%	64.6%
①中央	64.31	17.99	28.0%	72.0%
②東部	71.81	21.23	29.6%	70.4%
③西部	36.18	15.18	42.0%	58.4%
④南部	60.94	25.08	41.2%	58.8%
⑤北部	113.76	45.13	39.7%	60.3%
⑥河辺・雄和	30.16	8.74	29.0%	71.0%

※合計は、6地区の調査結果を足して算出したもの

(2) 食品ロス（直接廃棄、食べ残し）の割合

食品廃棄物のうち、調理くずを除く、直接廃棄および食べ残しを食品ロスとする。

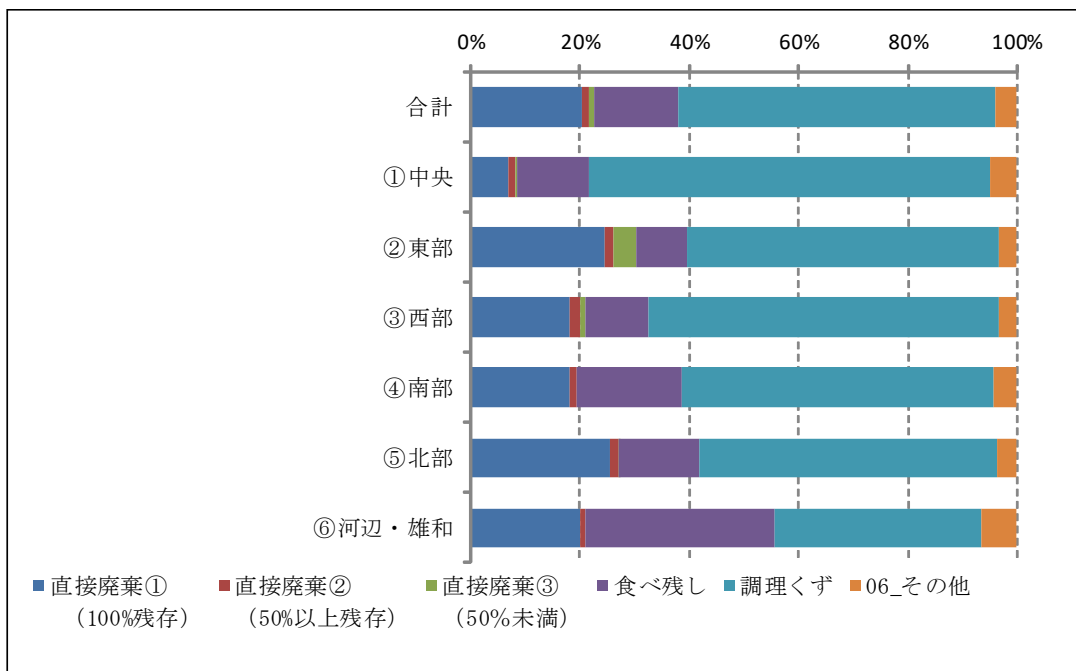
食品廃棄物のうち食品ロスの重量割合について（図表3）、6地区の合計割合では38.0%となっている。

地区別に見ると⑥河辺・雄和が最も高く55.5%、次いで⑤北部の41.7%、②東部の39.7%、④南部の38.8%、③西部の32.4%、①中央の21.5%となっている。

直接廃棄に着目すると、6地区の合計割合では、まったく手付かすの直接廃棄（100%残存）は、食品廃棄物のうち20.2%を占めており、⑤北部で25.3%と高く、次いで②東部が24.6%、⑥河辺・雄和が20.0%、③西部が18.1%、④南部が18.0%、①中央が6.9%となっている。

同様に、食べ残しに着目すると、6地区の合計割合では15.4%となっている。⑥河辺・雄和が34.7%と高く、次いで④南部が19.4%であり、②東部が最も低く9.5%となっている。

図表3 食品ロス（直接廃棄、食べ残し）の割合（秋田市）



	食品ロス割合	うち直接廃棄（手付かず）			うち食べ残し
		100%残存	50%以上残存	50%未満残存	
合計	38.0%	20.2%	1.5%	0.9%	15.4%
①中央	21.5%	6.9%	1.3%	0.3%	13.0%
②東部	39.7%	24.6%	1.4%	4.2%	9.5%
③西部	32.4%	18.1%	1.9%	0.9%	11.5%
④南部	38.8%	18.0%	1.3%	0.0%	19.4%
⑤北部	41.7%	25.3%	1.7%	0.2%	14.5%
⑥河辺・雄和	55.5%	20.0%	0.9%	0.0%	34.7%

※合計は、6地区の調査結果を足して算出したもの。いずれも重量ベースであり、端数の関係上、食品ロス割合の内訳（直接廃棄・食べ残し）の合計は、食ロス割合と合致しない場合がある。

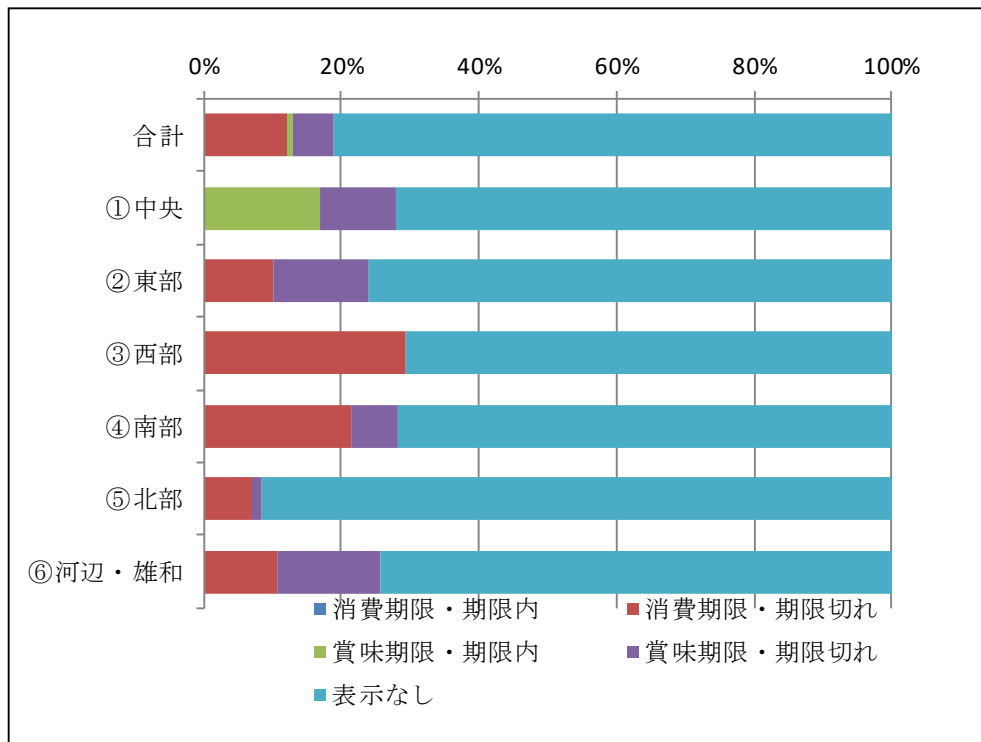
(3) 直接廃棄されたものの消費・賞味期限について

直接廃棄（100%手付かず）の消費・賞味期限の記載状況・期限について（図表4）、6地区の合計割合では「表示なし」が最も多く81.1%であり、消費期限の表示があったものは12.2%（期限内は0.0%、期限切れが12.2%）、賞味期限の表示があったものは6.7%（期限内内0.8%、期限切れが5.9%）となっている。

消費期限に着目すると、（100%手付かず）のうち「期限内」のものは全地域0.0%で、「期限切れ」については、③西部で最も高く29.5%であった。

賞味期限に着目すると、「期限内」のものが直接廃棄（100%手付かず）のうち0.8%、地区別に見ると①中央地区が最も高く16.8%であった。

図表4 直接廃棄（100%手付かず）の消費・賞味期限について（秋田市）



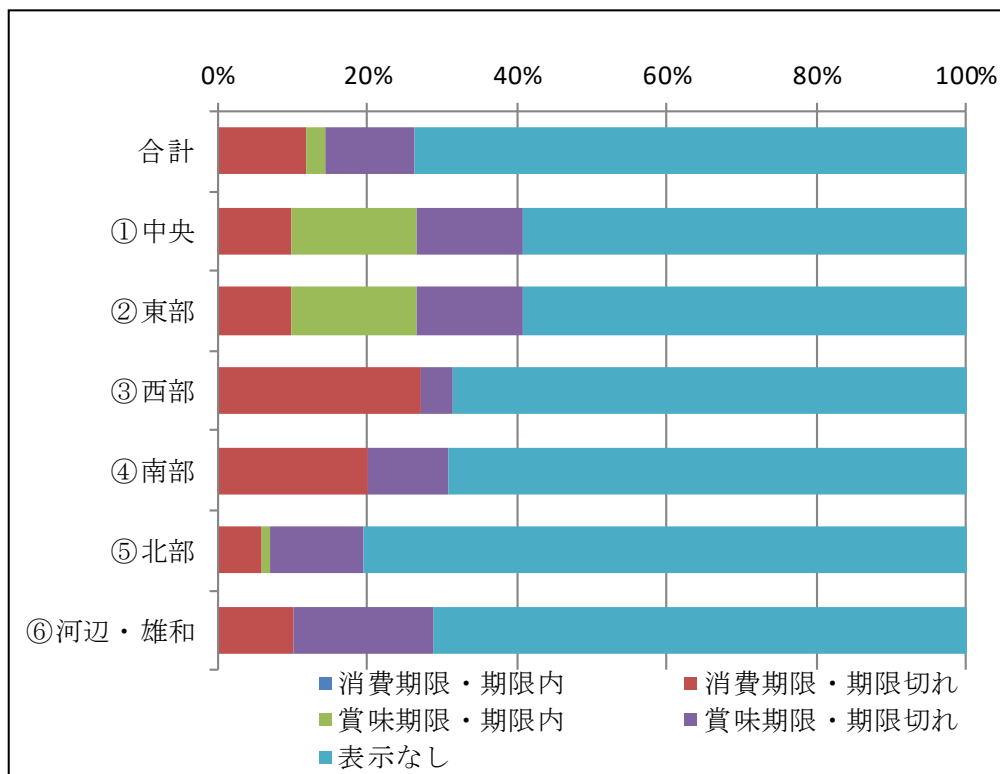
	消費期限		賞味期限		表示なし
	期限内	期限切れ	期限内	期限切れ	
合計	0.0%	12.2%	0.8%	5.9%	81.1%
①中央	0.0%	0.0%	16.8%	11.2%	72.0%
②東部	0.0%	10.2%	0.0%	13.6%	76.1%
③西部	0.0%	29.5%	0.0%	0.0%	70.5%
④南部	0.0%	21.5%	0.0%	6.7%	71.7%
⑤北部	0.0%	6.9%	0.0%	1.4%	91.7%
⑥河辺・雄和	0.0%	10.6%	0.0%	15.2%	74.2%

※合計は、6地区の調査結果を足して算出したもの。いずれも重量ベースであり、端数の関係上、合計が100%にならない場合がある。

同様に、直接廃棄全体（100%手付かず、50%以上残存、50%未満残存）での消費・賞味期限の記載状況・期限について（図表5）、6地区の合計では「賞味消費期限表示なし」が最も多く73.1%であり、消費期限の表示があったものは11.6%（期限内は0.0%、期限切れ11.6%）、賞味期限の表示があったものは15.2%（期限内1.2%、期限切れ14.0%）となっている。

賞味期限に着目すると、「期限内」のものが直接廃棄のうち1.2%となっている。地区別に見ると①中央が最も高く16.8%となっている。

図表5 直接廃棄（合計）の消費・賞味期限について（秋田市）



	消費期限		賞味期限		表示なし
	期限内	期限切れ	期限内	期限切れ	
合計	0.0%	11.6%	1.2%	14.0%	73.1%
①中央	0.0%	9.9%	16.8%	14.1%	59.2%
②東部	0.0%	10.0%	0.0%	22.9%	67.1%
③西部	0.0%	27.1%	0.0%	4.3%	68.7%
④南部	0.0%	20.1%	0.0%	10.7%	69.2%
⑤北部	0.0%	6.0%	1.0%	12.6%	80.4%
⑥河辺・雄和	0.0%	10.2%	0.0%	18.7%	71.2%

※合計は、6地区の調査結果を足して算出したもの。いずれも重量ベースであり、端数の関係上、合計が100%にならない場合がある。

(4) 一人1日当たりの食品ロス発生量

調査結果を踏まえて、令和5年度の実績を参考に一人1日当たりの食品ロス発生量を推計すると58.7g/人・日となり、その内訳を見ると直接廃棄（100%手付かず、50%以上残存、50%未満残存）が32.1g/人/日、食べ残しが26.6g/人・日と推計された。

図表6 一人1日当たりの食品ロス発生量（秋田市）

